

科目名	ワークショップⅣ						年度	2025	
英語科目名	Workshop IV						学期	後期	
学科・学年	声優・演劇科 1年次	必/選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実習+実技
担当教員	河口博昭	教員の実務経験		有	実務経験の職種		殺陣師		
【科目の目的】 全体で行う基本練習と、グループを作り細かい点を講師、学生と共に確認していく基本練習、立ち廻り練習を使い分けて進める。また、映像を視聴しながら殺陣の歴史や立ち廻りの技術の幅広さを理解する。立ち姿、所作など立ち廻りに必要な振る舞いを身体に入れるところから始まり、次に基本の形を体得しながらそれらを活用した立ち廻りを作る。後半に進むにつれて立ち廻りの割合を増やす。									
【科目の概要】 声優・俳優・タレントに必要なスキルをワークショップで学ぶ。									
【到達目標】 ①立ち廻りにおける適切な間合いを理解し、応用することができる。②殺陣を通して、現場を共にする者への気遣い、思いやりを心掛けて作品作りに参加することができる。③立ち廻りの技術を活かした身体運用を自在に操り、率先して動くことができる。									
【授業の注意点】 スポーツウェア着用を基本としているが、和装で受けたいという者は考慮する。裸足又は足袋を着用。木剣（木刀）は必ず持参すること。怪我、事故を防止するため実技中、解説中の私語は厳しく対応する。理由の無い遅刻、欠席は認めない。途中退席はやむを得ない場合のみ断ってから退席すること。授業時間4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる	挨拶することができる	挨拶することができない						
到達目標 B	課題内容を理解し演武することができる	課題を演武することができる	課題を演武することができない						
到達目標 C	遅刻・欠席をしない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い						
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 木剣（木刀）・レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ワークショップⅣ			年度	2025
英語表記		Workshop Ⅳ			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	基本形(立ち廻り①)/立ち廻り②	基本の所作・動作の修得、怪我をしないさせない技術を身につけること。	1 素振り	必要な身体表現を学ぶ	2	
			2 基本10型	型を身につける		
			3 基本連続	帯刀、構え、蹲踞を学ぶ		
2	基本形/立ち廻り③		1 素振り	必要な身体表現を学ぶ		
			2 基本10型	型を身につける		
			3 千鳥	複数人を相手にする		
3	基本形/立ち廻り③		1 素振り	必要な身体表現を学ぶ		
			2 基本10型	型を身につける		
			3 千鳥	複数人を相手にする		
4	基本形/立ち廻り③		1 素振り	必要な身体表現を学ぶ		
			2 基本10型	型を身につける		
			3 基本連続・千鳥	鏢迫り合いを学ぶ		
5	基本形/立ち廻り④		1 素振り	必要な身体表現を学ぶ		
			2 基本10型	型を身につける		
			3 基本連続・千鳥	鏢迫り合いを学ぶ		
6	基本形/立ち廻り④		1 素振り	必要な身体表現を学ぶ		
			2 基本10型	型を身につける		
			3 基本連続・千鳥	鏢迫り合いを学ぶ		
7	基本形/立ち廻り④		1 素振り・基本10型	立ち回りを学ぶ		
			2 基本連続・千鳥	鏢迫り合いを学ぶ		
			3 作品作り	相手との間合いをしっかりと保つ		
8	基本形/立ち廻り⑤		1 素振り・基本10型	立ち回りを学ぶ		
			2 基本連続・千鳥	鏢迫り合いを学ぶ		
			3 作品作り	相手との間合いをしっかりと保つ		
9	基本形/立ち廻り⑤		1 素振り・基本10型	立ち回りを学ぶ		
			2 基本連続・千鳥	鏢迫り合いを学ぶ		
			3 作品作り	相手との間合いをしっかりと保つ		
10	授業内発表		1 リハーサル	殺陣返しする		
			2 本番	心技体を一致させる		
			3 まとめ	自己を振り返る		
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等